

8月11日(日)発行

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

20
YEARS
MUZA KAWASAKI
SYMPHONY HALL

ほぼ

日刊サマ-ミュザ



Hobo Nikkan Summer Muza



角田×北村×東京フィル “正攻法”のドヴォルザーク!

8/10 東京フィルハーモニー交響楽団

©T.Tairadate

セントラル愛知交響楽団音楽監督の角田は名古屋の東海学園出身で、2日前に神奈川フィルを指揮した園田隆一郎と同学年に当たる。今回は2015年まで25年間コンマスを務めた青木高志(国立音大教授)が久々に東京フィルへゲスト出演、協奏曲第3楽章の美しいソロも含め、健在ぶりを示したのが古くからのファンにはうれしかった。

チェロのソリストは20歳になったばかりの北村陽。10代前半で頭角を現し、ドヴォルザークの協奏曲も早くから手がけてきた。昨秋ベルリン芸術大学へ留学、その成果は早くも明らかで、自身の音を客観的に聴き、オーケストラの各セクションと

室内乐的に“会話”するゆとりを急速に身につけた。体幹も安定してきたのか音の重心が定まり、息の長い歌を慈しみながら紡いでいく。1つ1つのフレーズが楽曲全体に対し持つ意味の理解も深まり、明と暗の対照の幅が大きくなった。

角田はアメリカ時代のドヴォルザークの境遇や新大陸の音楽との出会いにも目を配り、協奏曲も交響曲も「あるべきものがあるべきところにある」の正攻法でオーケストラをきっちり鳴らした。プレトークでも強調した通り、鉄道マニアだった作曲家が随所に仕掛けた効果音の隠し味まで丹念に聴かせ、通俗的な感傷よりも交響曲としての構

造を究める姿勢が好ましかった。第2楽章の有名な旋律を担うイングリッシュホルンの若林沙弥香のほか、クラリネットのアレッサンドロ・ベヴェラリのソロが随所で光った。

(音楽ジャーナリスト@いけたく本舗®・池田卓夫)



©T.Tairadate



(左)チェロ：北村陽 (右)指揮：角田綱亮

ご来場者の声

ザ・ドヴォルザーク! 2曲ともとても素晴らしかったです♪ソリストの北村さんお若いのに堂々としていてこれからも楽しみな若手チェリストですね。「新世界より」は弦、管ともにバランスよくミュザ全体に美しい旋律が響いていました。角田マエストロのプレトークは丁寧な今日のプログラムを説明されていてとても興味深く楽しかったです。お話がとてもお上手ですね♪(50代・主婦・みっぽ) /まさにドヴォルザークの「王道」満喫させてもらいました。オーケストラアンコール「スラブ舞曲」もヨカッタ。「新世界より」の後だけに尚更。(匿名) /『新世界』は15歳以来60年間に数え切れない数多の演奏に接してきたが、今日の演奏ほど楽譜の隅々まで読み取った演奏は初めてであり心から感嘆した。指揮者の繊細な感受性を受け止めた東フィルの名演にも大拍手だ。(70代・コンサルタント・ゴーシュ) /北村さんのチェロとてもすばらしかったです!「新世界より」のスケールの大きさにも引き込まれてしまいました!このような素晴らしい機会をいただき感謝です!(10代・高1(オーケストラ部)・赤いハリネズミ) /東京フィル、さすがの貫禄に圧倒されました。木管、ヴィオラ、さいこうでした!(40代・みゅごこ)

フェスタサマ-ミュザ KAWASAKI 20/24

明日の公演情報

東京交響楽団 フィナーレコンサート

残席僅少 慶太楼が魅せる、新時代のファンタジア!!

ミュージア川崎シンフォニーホール

プレトーク
14:20~

8.12 (月・振休) 15:00開演

ムソルグスキー (リムスキー=コルサコフ編) : 交響詩『禿山の一夜』

吉松 隆 : アトム・ハーツ・クラブ組曲第2番 op. 79a

伊福部 昭 : ヴァイオリンと管絃楽のための協奏風狂詩曲 ◆

デュカス : 交響詩『魔法使いの弟子』

[Discover the Future]

ガーシュウィン : ラプソディー・イン・ブルー *

S,A: 完売 B¥3,000
U25: 各席半額

TEL・WEB予約: 当日13:00まで
当日券カウンター14:00より



©Frank Fortune

指揮
原田慶太楼



©Yuji Hori

ヴァイオリン
川久保賜紀 ◆



©portament Project

ピアノ
潤音ノクト*
(バーチャルアーティスト)

MUZA's Recommend

東響音楽監督ジョナサン・ノットが 名手と紡ぐコンチェルト

過去にも、リヒャルト・シュトラウス、シェーンベルクをモーツァルトとカップリングしたプログラムをお届けしてきたノット監督。今回は3度目となるハイドンのカップリングでチェロ協奏曲を取り上げます。ソリストは、監督が長年一緒に演奏に取り組み、度々ソリストとしても共演してきた東響ソロ・チェロ奏者の伊藤文嗣。

そしてモーツァルト作品は、ピアノ協奏曲の人気作「ジュノム」。今飛ぶ鳥をおとす勢いのピアニスト・務川慧悟が登場します。

モーツァルトやハイドンの作品は、ロマン派以降の大規模なオーケストラ&協奏曲とは

また違った、シンプルかつクリアな魅力があります。

細やかな音まで聞こえてくるミュージアの音響で、2人の名手が紡ぐ豊かな演奏、ソリストとオーケストラとの密なやり取りがお楽しみいただけるでしょう。

名曲かつ人気な2曲を、1時間でギュギュッと楽しめるコンサート。

11月は「芸術の秋」真っ只中。午後は別のコンサートに繰り出してもよし。ランチやショッピングの前に芸術に親しむひとりにしてもよし。名手の演奏を心ゆくまで堪能ください。

(事業・か)



指揮：ジョナサン・ノット



チェロ：伊藤文嗣



ピアノ：務川慧悟

モーツァルト・マチネ第59回

2024. 11.16(土) 11:00開演 (休憩なし・約70分)

ハイドン：チェロ協奏曲 第1番 ハ長調 Hob. VIIIb: 1

モーツァルト：ピアノ協奏曲 第9番 変ホ長調 K. 271「ジュノム」

全席指定 ¥4,000 / U25 ¥1,500 ※本公演は好評につき、舞台側方席も発売中です。



詳細はこちら

ホール内でほっと一息つきませんか？

ホール2Fにて営業中♪
ドリンクコーナーのご案内



《サマーミュージア期間限定》
コースタープレゼント！
*1杯ご注文につき1枚



ミュージアどらやきも
期間限定で販売中！
¥200/個



パートナーショップのご紹介
エンジョイ!
川崎!!
Enjoy Kawasaki



特製味噌ラーメン
(税込1,180円)

「勝利を確信するスープ」

学生時代に年間100回以上もラーメン店に通っていた大のラーメン好き筆者が今回うかがったお店はアゼリア地下一階にある「玉 バラそば屋」さん。店員さんオススメの特製味噌ラーメンをいただきました。

いざ着丼!まずはスープを一口飲んでみると、豚骨のパンチが効いた味噌スープの中に卵黄のまろやかさも相まっており、この時点でラーメンをすする上での勝利を確信しました。

次に麺をリフトアップ!国産小麦の香りと適度なコシが感じられる自家製麺を、秘伝の特製ダレで味を染み込ませた大判チャーシュー、豊富なトッピン

グと共に夢中で吸っていると、気付くと丼の中身は空っぽ。

スープの最後の一滴まで美味しくいただける珠玉の一杯でした。

(ラーメン大好きK原さん)

玉 バラそば屋

川崎アゼリア

パートナーショップ特典

替玉サービス ※「優待券」持参者のみ



フェスタサマーミュージック公式サイト
https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/

#サマーミュージック

#ミュージック20周年

で検索 & 投稿

お待ちしております!



X: @summer_muza

Facebook: @kawasaki.sym.hall

Instagram: @muzakawasaki

YouTube: @kawasakisymhall



ただこればと思っています。(え)

20周年を迎えたミュージア。その名の由来は「MUSIC + 座」を合わせた造語ですが、この先も音楽によって、人が集まり、交わり、そして響く場所として、笑顔が溢れる場所である様、これからもご来場されるお客様、ご利用様のお手伝いをさせていただきます。

スタッフ日誌

ミュージアのホームページ、20周年特設サイトのフォトギャラリーでご覧いただけるフェスタサマーミュージック KAWASAKI の歴史ビジュアルコーナーはご存知ですか？